

『SNSノート・ながさき』を活用した情報モラル教育

『SNSノート・ながさき』

児童生徒の健全育成を図るため、情報モラル教育の一層の推進が求められています。

昨年度、長崎県教育委員会は、LINE株式会社と協定を締結し、児童生徒のインターネットやSNSの適正な利用に向け、情報モラル教育教材『SNSノート・ながさき』を作成しました。小学校用（低学年用・中学年用・高学年用）、中学校用、高校用の5種類と、保護者用、指導者用の活用の手引があります。『SNSノート・ながさき』は、県教育センターWebサイトからダウンロードできます。



URL https://www.edu-c.news.ed.jp/?page_id=292

情報モラル

平成29年に改訂された小・中学校の新学習指導要領解説（総則編）には、情報モラルとは、「**情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度**」と示されています。また、指導上の留意点として、「**情報や情報技術の特性についての理解に基づく情報モラルを身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要**」と示されています。情報モラルの指導にあたっては、SNS等についての最新の情報を常に収集するとともに、『SNSノート・ながさき』を活用した体験や話し合い等を通して、児童生徒自身に考えさせる指導が大切です。

『SNSノート・ながさき』を活用した情報モラル教育に関する講座

長崎県教育センターでは、経年経過研修、出前講座、情報モラル教育研修講座において、『SNSノート・ながさき』を活用した情報モラル教育についての講座を実施しています。

令和元年12月26日に実施した情報モラル教育研修講座では、『SNSノート・ながさき』の開発に携わった静岡大学教育学部の塩田真吾准教授をお招きして、情報モラル教育について具体的な事例をもとに、演習を交えながらわかりやすく講演していただきました。**来年度も塩田准教授をお招きする予定にしています。**塩田准教授の講演は公開講座として実施しますので、今年度聞き逃したという方は、是非教育センターまで足をお運びください。

また、情報モラル教育研修講座では、上の講演のほかにも著作権、情報セキュリティ、『SNSノート・ながさき』を使った道徳の模擬授業等を行いました。

道徳の模擬授業で使用した学習指導案 →[クリック](#)

